

入選

家族と過ごす幸せを
木のぬくもりと
香りに囲まれた
ゼロエネ住宅で

木の香り漂う 「ゼロエネ住宅に集う」

鹿児島市

設計 / 株式会社 建築工房匠

施工 / 株式会社 建築工房匠

棟梁 / 松山 裕太郎

「夏は涼しく、冬は寒さを感じさせないほど快適」とお施主さんも大満足の木の住まいは、省エネ住宅「ZEH」の家づくりを目指し、ソーラーパネルで地球環境にも配慮しています。

平屋建てながら「認証かごしま材」の柱を用いたリビングは広がりある吹抜けとなっており、開放的で気持ちの良い空間となっています。

「我が家で家族と一緒に過ごす時間がとても幸せ」とお施主さんが語られるほど、木に囲まれ良い香りが漂う、ぬくもりある住まいです。

自然の風と光をやさしく取込む和室 ▶





募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準	「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○
	柱・半柱・間柱が、(1)当該部材の体積比で80%以上	○
認証かごしま材の家の基準	柱・梁・桁などの構造材が住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	○
	造材材、下地材及び(3)フローリングの合計面積が16㎡以上	○
	上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	○

日差しに配慮された軒の出と外からの視線を防ぐ板塀



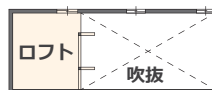
建物南側の軒の出は夏の日射遮蔽と冬の陽だまりを確保できるよう工夫されています。デッキ部分の板塀は通行人からの視線に配慮した高さで、プライバシーも守られています。リビングからつながるロフトは河川氾濫など非常時の避難場所としても活用可能で、住まいの安全性を高めています。内装材から家具まで至る所にたくさんの木材を使用した快適で安全な住まいです。

木材使用量	24.48㎡
かごしま材使用量	22.99㎡

建物の概要

敷地面積：235.65㎡
 建築面積：100.76㎡
 延床面積：96.88㎡
 平屋建て
 2021年07月完成

ロフト平面図
S=1:300



1階平面配置図
S=1:300



造り付けの書斎デスクと棚も「認証かごしま材」



防音・吸音に配慮したピアノ室